

あいちの印刷

11

2014.11

No.516



上高地（梓川・河童橋）

もくじ

- 巻頭言「世の中に必要とされる印刷物とは」…………… 3
- 愛印工・体験セミナー 「もしもの時に備えて」…………… 4
- 2014全日本印刷文化典京都大会
全国から印刷産業人900余名が結集…………… 8
- 「労働安全衛生法」が改正労働者の安全と
健康の確保を一層充実……………10
- ブランディング委員会発足
若者の集う産業に広く広報活動を推進……………12
- 身近な催し物のお知らせ……………13
- 平成26年度 永年勤続優良従業員表彰……………14
- 名古屋商工会議所 「各種補助金説明会」開く……………14
- 中小・小規模事業者の経営相談所 「よろず支援拠点」開設……………14
- 編集だより……………14

E
&
F
P



体感してください。
印刷現場の歴然とした
変革効果を。

オフ輪・枚葉の「損紙削減・乾燥促進」印刷

Eco & Fast Printing

FUJIFILM環境対応CTPプレート+湿し水による新提案

FUJIFILM
Value from Innovation

80th
Anniversary

Eco&Fast Printingとは...
コストダウン(損紙・インキ削減)、
印刷機稼働率アップ、品質安定化
を実現する印刷工程改善サポート
活動です。

Eco&Fast Printing セミナー・勉強会

印刷機の適切なメンテナンス方
法やチェックポイントなど、実践の
ための要点を、セミナー形式でわ
かりやすく解説します。

印刷機診断

課題を“見える化”するため、印刷
機の状態を診断・分析。最適な改
善策を提案します。

実践サポート

改善策をより効果的に実践できる
よう、FFGSのプリンティングアドバ
イザーが印刷現場できめ細かくア
ドバイスを行ないます。

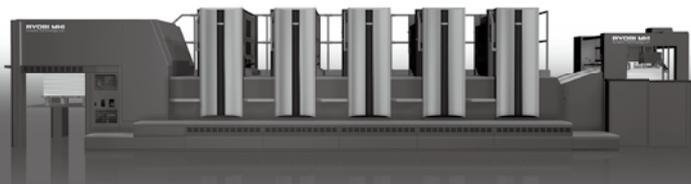
FFGSは、印刷会社の課題解決を
さまざまな角度から
お手伝いいたします。



富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

リョービMHI

グラフィックテクノロジー株式会社



DIAMOND V3000 シリーズ

商業印刷からパッケージ印刷まで、
基本性能をさらに高めた
フラッグシップ機。

長い年月をかけて磨き上げ、
受け継いできた高耐久の基本設計、
高精度メカニズムを核としながら
時代の先端を行くテクノロジーを搭載し
進化を続けてきたのが
DIAMOND V3000シリーズです。
V3000シリーズは
商業印刷からパッケージ印刷まで
印刷市場の多彩なニーズに
高い次元でお応えします。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市中天白区久方1-145-1 TEL 052-807-1671 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

優れた安全性と作業効率を実現して eRCシリーズ誕生。



eRC SERIES



ITOTEC

イトテック株式会社

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo: eRC115DX

本社 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495 〒484-0912
東京支店 東京都板橋区中台1-31-1 TEL 03-5920-2161 FAX 03-5920-2171 〒174-0064
大阪支店 大阪府市中新開2-13-16 TEL 0729-66-3330 FAX 0729-66-3323 〒578-0911
四国営業所 愛媛県四国中央市豊岡町長田216 TEL 0896-25-1302 FAX 0896-25-1344 〒799-0435

福岡サービスセンター 福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6 TEL 092-651-6031 FAX 092-631-1746 〒812-0051
札幌サービスセンター 札幌市中央区北一条西18-1 TEL 011-611-7221 FAX 011-611-7224 〒060-0001
新潟サービスセンター 新潟市横越中央1-11-10 TEL 025-385-2059 FAX 025-385-3701 〒950-0208
仙台サービスセンター 仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7 TEL 022-258-1758 FAX 022-258-1793 〒983-0003

巻頭言

世の中に必要とされる印刷物とは

CSR・環境委員長 山田 慎二

近年、CSRという言葉を目にする機会も増えてきましたが、まだまだ苦手意識もあるように感じます。CSR＝企業の社会的責任と認識していても具体的に何から取り組めば良いかわからない、そんな大それた事は大手企業に任せておけば良いのではないかとお考えの企業も多いのではないのでしょうか。印刷会社は地域密着経営です。地域の情報を発信出来る強みがあります。松下幸之助氏が言われている『世の為、人の為になり、ひいては自分の為になるということをやったら、必ず成就します。』という言葉があります。私は東日本大震災後、世の為、人の為に何が出来るかと考えた時、この地域に園児向けの防災を学ぶ本が無いことを知りました。紙、印刷の力でいつ起きるかわからない大地震に備え、防災・減災に対する意識を高め、一人でも多くの子ども命が守れる事ができるかもしれない。この時、私が改めて痛感したのが『紙媒体』の強みでした。園児向け『ぼうさいえほん』発行のこの取り組みは、民間企業が行政と協働する社会貢献事業として初めて各県防災担当課と教育委員会等の全面協力を受け、昨年県内全ての園児に無料で配布されました。

そして、ぼうさいえほんを発行したご縁で愛知県警察から「子どもたちの連れ去り事件」について

のお困りごとの話がありました。警察職員の方も毎月小学校に行き指導をしていますが、伝えられる数にも限りがあります。そこで紙を使った後方支援を考えました。愛知県警察子ども女性安全対策課監修の下、小学生低学年向け「防犯絵本 つみきおに ちゃんとかえるもん」を制作いたしました。近年子どもが被害に遭う犯罪が増え、その手口も巧妙になってきています。この絵本を活用することで、小学校低学年の児童に普段から防犯についての知識を持ってもらうとともに、とっさの時の行動についても保護者と一緒に話し合う場をもち、一人でも子どもたちの命を守りたいと願って作成しました。この冊子は今年10月県内低学年の児童一人ひとりに配布される事になりました。

どちらも、印刷会社がCSR活動を理解して頂ける企業様(スポンサー)を集め、印刷と発送費を捻出いたします。同質化競争にならない商品を印刷会社が企画営業し、世の為、人の為になる印刷物を提供できる。こんな活動が業界内で増えていけば素晴らしい印刷業界になると私は信じて活動しています。同じ印刷会社を営む皆様と一緒に組合として世の為、人の為になる印刷物を考えていきましょう。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

愛印工・体験セミナー

「もしもの時に備えて」

災害時シミュレーションを体験

大震災の時、社員・会社を救えるか！

BCP対策の周知徹底と訓練の必要性



名古屋市消防本部から地震情報



BCPの必要性を説く平野講師

愛印工組CSR・環境委員会(山田慎二委員長)は、9月30日メディアージュ愛知において、体験セミナー「もしもの時に備えて～災害時シミュレーション体験～」を開催した。このセミナーは、災害時を想定しダミー印刷会社をモデルに、会社の役職者が災害に遭遇した時どのように行動するか、災害時シミュレーション体験を学んだ。特に、訓練とわかっていてもとっさの判断ができない状況を体感し、普段から社内においてBCP(Business Continuity Plan)対策の周知徹底や訓練の必要性が問われた。

講師には、中小企業診断士、上級リスクコンサルタントの平野喜久氏が務めた。

■「もしもの時に備えて」の体験

体験セミナー開始にあたり平野講師は、「9年ぐらい前からBCPの作成に携わるようになったが、当初はBCPといっても知名度が低かった。3年前の東日本大震災以降からBCPについて理解してもらえるようになった。しかし、セミナー、講演などで、皆さん一生懸命メモを取り勉強しても、職場に帰って活かされていない。活かすためにはどうしたらいいのか、シミュレーション訓練を考えた。地震のシミュレーション訓練は余りないと思う。通常の防災訓練と違い、リーダー・責任者として、どうしなければいけないのか、を念頭において取り組んでいただきたい」と促した。

■地震シミュレーション訓練の目的と進め方

□目的=①地震直後の1時間を疑似体験することで、災害時のイメージを実感する。②経営責任者またはリーダーとして、どのような状況で、どう判断し、どうアクションするかを具体的に体験する。③単なる被災住民の発想にとどまらず、組

織のリーダーとしての考え方を身につける。

□進め方=①5～6人のグループに分かれて行なう。②参加者は架空企業の幹部社員。③事務所棟2階会議室で役員会議の開催中に被災したと想定。④入ってくる情報から状況を判断し、何をすべきかを話し合い、どうするかを決めていく。⑤緊急地震速報とラジオ放送は音声で流れる。⑥現場の状況、周辺の状況はメモ用紙で提示される。⑦訓練終了後は、グループごとに内容を発表。⑧参加者全員で意見交換を行ない、他のグループとの知見の共有を図る。

■地震直後の1時間を疑似体験

愛知県内を震源地とする震度6強の大地震が発生したと想定。平野講師は、「訓練内容は、東海地方に発生した巨大地震を想定した非常時訓練である。地震発生から1時間をリアルタイムで再現していく。6人ずつのグループに分かれているが、これは各企業の緊急対策本部を想定している。刻々と変化する

カラーもモノクロもページもの印刷得意です

◎厚紙印刷菊全4色0.8mmまで可

◎PP貼のみの仕事引き受けます

データから印刷・製本・発送まで自社一貫体制

 **大日印刷株式会社**
☎0564-62-8461(代) 
FAX0564-62-8463

盛功社の創業は1889年。2014年に125周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料



株式会社 **盛功社**

〒461-0014 名古屋市東区樺木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
<http://seikosha-net.jp/>



体験シミュレーションの前のレクチャー

る状況を捉えて意思決定を行なう。この訓練の目的は、地震直後の1時間を疑似体験し、災害イメージを持つことにある。「地震のときはどういうことが起きるか、どういう状態におかれるのか、また、責任者・リーダーとして、どのような状況で、どう判断し、どうアクションをとるのか、具体的に体験していただく」と前置きし、体験シミュレーションがスタート。

会議室で役員会議を開いている最中に地震が発生、役員会議がそのまま緊急対策会議に切り替わった。

緊急地震速報と共に、グループごとに、社長、専務、製造部長、営業部長、総務部長などの役割分担を決める。いろいろな情報が入ってくる。緊急地震速報、ラジオの災害放送、その他、手書きのメモが随時差し込まれる。メモには現場がどうなっているか、会社の周辺がどうなっているか、などの状況が書き込まれている。そのような中で、自社社員と近隣住民の生命を守ること、会社存続のための手段が取られる。

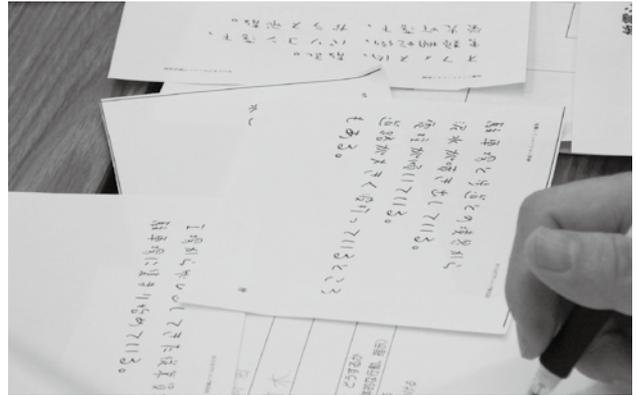
平野講師は、「いろいろ入ってくる情報を踏まえ、今、私達はどのような状況におかれているかを考える。例えば、「こういう情報だったら、こうした手を打たなければいけない」、「こういう行動を取らなければいけない、など、グループの中で意思決定を行なう」と指摘する。

約1時間の訓練終了後、グループ発表が行なわれた。同じシミュレーションで行なっているはずであるが、各グループの対策内容、考えた内容が違うということがでてくる。各グループがどういうことを考え、手を打ったかが見極められた。

平野講師は、「情報を得たとき、当然その背後に何が起きているのかも把握しなければならない。「こういうことが起きているなら、今後、こういうことが起きそうだ」、「こういうことが起きる前に、こういう手を打っておかなければいけない、な



机の下に退避する避難訓練



メモによる情報が刻々と集まる

ど、見えないところまで予想し手を打っておくことが必要になる。こうした隠れた課題がきちんと見つけれられるかがポイントになってくる」とアドバイスする。

■グループにおける意見の収録

シミュレーションという実際には危険がないにもかかわらず、刻々と変わる状況変化の中で、的確な判断と意思決定の難しさが体感された。グループにおける意見を収録した。

□従業員4名が行方不明ということで、製造部長と営業部長が捜査に行った。

□水、食料、毛布の確認をした。倉庫にあるのは確認できたが中に入れる状況ではなかった。

□避難場所の判断は、広い道路が防火帯になる小学校を選択。

□矢継ぎ早に情報が入ってきて少しパニックになりそうであった。そんな中で、とにかく人の命を最優先する。仕事、デー

紙でご愛顧70年

印刷用紙専門商社

メイカミ
meikami

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市東区主税町4-83 〒416-0018

TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山配送センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場

TEL. (0568) 39-0501

幅広いニーズに対応するキャパシティと工場24時間稼働体制でサポート

印刷ステーション

株式会社 太急 〒460-0007 名古屋市中区新栄1-14-21
TEL.052-262-0555 FAX.052-262-1043
関連会社/ (株) ミニカラー印刷 (株) 太堂 (株) 山川

- OFFSET PRINTING
短版印刷
- UV PRINTING
特殊紙、パッケージ印刷
- POST CARD・ENVELOPE
はがき、封筒カラー印刷
- BUSINESS CARD
名刺・DM・オンデマンド印刷
- SEAL・積札加工
シール印刷、積札印刷加工
- OUT SOURCING
宛名印刷、全額加工

Computer to film Computer to plate Computer to press

DAIKYU



各グループで対策を練る



時間の経過とともに対応に四苦八苦

タなども大事であるが、命を守りこの場を乗り切りたい、というのが全員の意見であった。

□家族が心配だから帰りたいという社員がいたが、帰ることのリスクが高いという判断で帰らせない指示をした。

□社内の消火器を集め火災への対応を進めた。

□4名の行方不明者については、製造部長が安否確認をした上で、リスクを考え探しには行かず、地震が収まってから探すことにした。

□東京のお客様には、怪我などがないかの確認をし、同じ駐車場へ集まってもらう。

□情報を確認せずに動くということが身につまされた。最初に小学校へ避難をするということで、総務部長を先頭に非難をした。その後、火災が発生したので戻る指示をした。

□帰宅に関しては、徒歩と自転車とバイクでの通勤者は帰す。遠方の者については、メールでの安否確認の努力をして会社に留まる指示をした。

□地震直後の避難に関しては、状況判断が全くできていなかった。状況の把握と避難所まで行く安全がわからないのに、行けといったのは軽率であった。

□近くで火災が発生したので、会社の貴重品だけは持つて出る指示をしたが、総務部長から「何が貴重品なのか」と問われ返答に困った。

□取引先への連絡は、現状の把握ができれば連絡を入れることにした。

■地震が収まった後の対応

地震が収まった後の行動について、平野講師から幾つかの指摘があった。その主だったものを紹介する。

□**情報収集**⇒防災ラジオをつける。ワンセグ、携帯からのネット。被災者の一番の意見「いったい何処で何が起きたかさっぱりわからない」。

□**安否確認**⇒まず自分自身のけがなどの状況を確認。そして、その場にいる人、同じフロアにいる人、同じ敷地内にいる人、出張中の人、家族などの安否を確認する。

□**駐車場と道路の間から泥水が出ている**⇒泥水は液状化の印。目の前で起きていることは名古屋全域に起きていて道路は通れないと予想できる。

□**消防署からメールがきた**⇒気象庁からの転送なので遅れているし、余り重要な情報ではない。ここでわかるのはメールが使えるということである。

□**4名が行方不明の情報、その中に工場長がいる**⇒命令系統を至急修復する。

□**救助に行く**⇒誰が何人でいくのか、余震対策は。

□**余震対策**⇒携帯ラジオを持たせ、ラジオを聴き続ける役割の人を救助隊の中に置く。

□**出張中の社員へ**⇒帰れないので宿泊先を直ちに確保の指示。お客様の会社で1つでも机を借りることができれば、それが情報拠点になる。被災地外のお客様とはその拠点を通してやり取りをする。被災地から被災地外へは比較的電話が通

Axuas 私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・包材・LEDの
株式会社

AXUAS

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522
Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp
[佳作]を受賞した青木氏作品



■11月は「労働保険適用推進強化期間」

【雇ったら入る労働保険、経営者の責任】

厚生労働省では、11月1日～11月30日までを「労働保険適用促進強化月間」と定め、労働保険の未手続き事業所の解消を図るため、労働保険制度の周知及び労働保険の適用促進について、広く啓蒙運動を行なっている。

労働保険は、労災保険と雇用保険とを総称した名称。事業主は、労働者（パートタイマー、アルバイトを含む）を一人でも雇用しておれば、業種・規模の如何を問わず労働保険の適用事業所となり、事業主は加入手続きを行わなければならない。仮に、事業主が加入手続きを行わなかった間に労災事故が発生した場合、遡って保険料が徴収されるので、まだ、加入手続きを行っていない事業主は速やかに手続きを行なうよう呼びかけている。

加入手続きなどの相談は、愛知労働局労働保険適用・事務組合課（TEL052-219-5503）、又は、最寄の労働基準監督署、公共職業安定所（ハローワーク）まで。



人を雇うということは、
その人はもちろん、
その人の家族も守るということ。
労働保険の加入は、
経営者の義務であり責任です。

正社員、パート、アルバイトなど、雇用形態にかかわらず、
労働者を1人でも雇っている事業主は、
労働保険に加入する義務があります。
労働保険に加入しない事業主は、労働者やその家族の安全を守る責任を負います。
労働保険に加入しない事業主は、労働者やその家族の安全を守る責任を負います。
労働保険に加入しない事業主は、労働者やその家族の安全を守る責任を負います。

雇うことは、加入すること。
労働保険

労働保険について詳しくは、厚生労働省労働局、労働基準監督署にお問い合わせください。
労働保険 検査

じやすい。外から被災地へは通信制限で電話はできない。

□東京からのお客さま⇒一緒に避難行動を取る。お客様の会社に一報を入れておく。

□遠方から煙が見えた⇒従業員に様子を見に行かせる。消える状況があれば対応の必要なし。近所の人が消火活動を行なっていれば、従業員を手伝いに行かせることも必要。消火の見込みがない状況であれば避難準備をする。状況がわからないなら自分達で情報を取りに行く。

□けが人の手当て⇒病院が近ければいく。地震直後はけがの低い人、徐々に重傷者が優先される

□公的避難所に避難する⇒公的避難所は地域住民のためにある。事前に広い敷地の会社や耐震性のビルを持っている会社をお願いしておく。地域住民を助ける側にまわる。

□帰宅困難者⇒原則帰らない。

□家族が心配でどうしても帰りたいたいという従業員⇒予めルールを作り自己責任で帰る。歩いて帰れる目安は20キロ。帰る場合は、水、食料、手袋、スニーカー、携帯ラジオ、印刷した地図、コンパス、携帯寝袋が必要。幹線道路を使って、同じ方向の人たちでグループを作って帰る。

□いろいろな情報への対応⇒付箋に書いてホワイトボードに貼り付ける。情報には時刻を記入する。情報はカテゴリで分類しておく。

■受身の状態にならないように

最後に平野講師は今回の地震シミュレーション訓練を総括し次のようにまとめた。

「今回は情報が入ってきて、その情報にどう対応するかであったが、入ってきた情報に振り回されていると完全に受身の状態に陥ってしまう。入ってきた情報に反応しているだけでよいか、どういう情報が優先的に入ってくるかをみた場合、被害程度の軽いところから情報は入ってくる。深刻な被害を受けたところはなかなか情報はこない。ひどいところほど情報は遅れる。入ってきた情報に対応していると、程度の軽いところだけ手当てしていて、本当に深刻なところが最後までほったらかしになりかねない。入ってきた情報と共に何が入ってきていないか、何がわかっていないかを常に考えておく必要がある。よく地震が起きたら何をするかを考えるのが大事な、という人がいるが、本当は、地震が起きるまでに何ができるかで、全てが決まると考えたほうがよい。地震が起きるまでに、準備できたこと、訓練したこと、ルール化したこと以外は、地震が起きてからはできない。状況がハッキリするまでは判断をしないというのも一つであるが、情報がわかるまで待っていて、その時には手遅れというものもある。40%ルールで、情報の40%が集まってきたら決断のときである。60%で行動のときである。」



NEXT GENERATION GRAPHIC ARTS

変化する市場ニーズを多彩な技術でナビゲートする

DIC グラフィックス株式会社

ディーアイジー

<http://www.dic-graphics.co.jp/>

本 社 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-101ワテラスタワー

電話03-6733-5001

名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-7-15

電話052-951-9335

■2014全日本印刷文化典京都大会 全国から印刷産業人 900余名が結集

京から始まる印刷業界の新たな
ストーリー

京都印刷文化典記念式典



全日本印刷工業組合連合会(島村博之会長・全印工連)は、10月24日・25日の両日、1200年の歴史を持つ古都・京都のウェスティン都ホテル京都で、2014全日本印刷文化典京都大会を開催した。印刷文化典が京都で開催されるのは40年振りになる。京都大会では、印刷文化典宣言、全印工連メッセージ、記念講演、全印工連フォーラム、印刷功労者表彰、

優良従業員表彰の他、併催行事で「販促アイデアグランプリ2014」が開催された。なお、組合功労者表彰では、細井俊男、鳥原久資各副理事長、斎藤和男、伊藤公一、宇佐見参良各理事が受賞した。また、併催行事として行なわれた販促グランプリには、三藤印刷㈱が出品した。

大会には、木野瀬吉孝理事長始め23名が参加した。

組合功労者表彰で細井、鳥原、斎藤、伊藤、宇佐見の5氏

京都大会記念式典は、水落充近畿地区印刷協議会会長の開会宣言、国歌斉唱に続き、開催工組を代表して京都大会実行委員長・京都府印刷工業組合瀧本正明理事長が、「40年ぶりに京都の地において“京から始まる印刷業界の新たなストーリー”をテーマに掲げ、『2014全日本印刷文化典京都大会』を開催する運びになった。誠に光栄である」と前置きし、全国からの参加者に謝意を示した後、「京都大会では、全国の印刷産業人が一堂に会し、業界の直面する課題を真摯に受け止めて議論することにより、情報産業の中核を担う印刷人として、また情報コミュニケーションに関わるあらゆるニーズに応えるソリューション・プロバイダーの一員として、印刷産業の未来に向けた新しい展望を示すことができると確信している」と決意を述べた。

次いで、主催者を代表して全印工連の島村博之会長が、次のように式辞を述べた。

「この印刷文化典は、2006年の山口大会以後、2年に1度の



組合功労者表彰を受けた細井、鳥原の両氏

開催となった。それ以前は、4年に1度の全国大会を挟みながら毎年開催をしていた。それを思うとなんとなく寂しい感が否めない。次の文化典は2年後の福島大会に決定しているが、東北地区では開催地をめぐって、3つの工組が誘致合戦をしたと聞いている」と披露した。全印工連の現状に話を移し、「全印工連では、組合員数は毎年減り続けて、賦課金収入もこの2年間で1千万円近く減った。しかし事業支出は増やし続けている。平成23年度の決算と比較すると24年度が5,500万円アップ、25年度が1,800万円アップである。今年度の予算では賦課金収入が前年比で700万円減少すると予測する中で、事業費を4,000万円増額している」。その理由について、「それぞれの委員会がしっかりとした予算管理の下、収益事業と経費削減を着実にこなしてきた。また、それらの事業に対し、多くの組合員が賛同し参加してきた。これこそが正に組合の有るべき姿だと考えている。全印工連の組合員の平均社員数は21人である。この規模の会社経営にとって、組合から得られるメリットは計り知れなく大きい。今残っている組合員はそれを理解しているからこそ組合に所属している。組合を必要としている組合員の期待に応えることこそが執行部に課せられた任務であると考えている。どうしたら今の組合員が今以上に組合に魅力を感じられるようになるのか、どのようにして組合員は新しい印刷産業の中で勝ち抜いていくのか、さらにその姿に共感して、様々な業界の企業から我々の仲間に入りたいといってもらえるようになるのか、その探求を続けることが、47都道府県工組、そして連合会の使命だと考える」と述べた。

続いて、来賓紹介が行なわれ、代表して宮澤洋一経済産業大臣の祝辞を経済産業省近畿経済局関総一郎局長が代読した。「印刷は、本や新聞、商品ラベルなど身の回りのあらゆる



販促アイデアグランプリでの三藤印刷㈱のブース

ものを構成しており、企業活動、国民生活にとって不可欠なものである。印刷業はわが国における極めて重要な産業として発展してきた。特に中小印刷企業では、地元の企業や商店等の取引を通じ、地域に密着した活動を進めており、地域から高い信用を得ている。印刷業を担ってきたこれまでの事業活動に対し、あらためて敬意を表す。印刷業の皆様には、攻めの姿勢で新たな市場を切り開き、引き続き我が国における重要な産業として発展していくことを期待している。

また、塚本稔京都市副市長が、「源氏物語は、しみじみとした情趣を込めて記されており、私たちに感動をもたらす。そうした、心潤う経験を多くの人々が共有する上で、印刷業界の皆様の役割は大変大きい。源氏物語が京都で誕生したと同様、大会のテーマ通り明るい未来に向かう皆様自身の新たな物語もまた、この京都から豊かに紡がれ始めることを心から念じている」と祝辞を述べた。

大会のメイン行事である表彰式に移り、印刷産業発達功労者顕彰、印刷関連産業功労者顕彰、組合功労者顕彰、優良従業員表彰が行われた。

【印刷産業発達功労者】

岡部康彦(北陽ビジネスフォーム㈱)全印工連参与・北海道工組顧問、森永伸博(㈱伸正社)全印工連参与・東京工組参与理事。

【印刷関連産業功労者】

アドビシステムズ㈱

【印刷文化典宣言】

社会環境・経済環境・情報環境が大きく変化する中で、時代は今、大きな転換期を迎え、我々印刷産業もまたその渦中にある。

急進するIT、メディア媒体の多様化、企業間競争の激化など、かつてない厳しい経営環境下であり、我々に求められる役割も様変わりしてきている。

今こそ我々は、先達者の努力で築き上げ受け継がれてきた、時代を彩る印刷文化を、次代に継承発展させるべく、機動性・柔軟性、そして創造性を発揮して、文化から変革へと自らの歩みを進めていかなければならない。

我々印刷産業人は、1200年を超える歴史の遺産を守り続ける京都において、「京から始まる印刷産業の新たなストーリー」のテーマのもと、全日本印刷組合連合会が提唱している「印刷道〜ソリューションプロバイダーへの深化」の具現化に向けて印刷産業が持つ自らのアイデンティティを再定義し、研鑽を重ねて未来へ向かって前進することを誓う。

企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスを供給し、国民生活および文化を支える産業として、社会に貢献することをここに宣言する。

【組合功労者】(愛印工組のみ)

愛知工組/細井俊男(新日本印刷㈱)副理事長、鳥原久資(㈱マルワ)副理事長、斎藤和男(岡三州印刷)理事、伊藤公一(㈱地上社)理事、宇佐見参良(ウサミ印刷㈱)理事

続いて、印刷文化典宣言を京都青年印刷人月曜会福野慎吾会長が行なった。(別項参照)

また、島村会長による「全印工連メッセージ」が行なわれたあと、中村安博京都会実行副委員長の閉会の辞で式典を終了した。

式典終了後行なわれた記念講演は、半兵衛麩会長玉置半兵衛氏による「先義後利梅岩に学ぶ京都商道」と題し、創業325年の歴史を持つ、お麩専門店の11代当主としての京都における商いの道を説いた。氏は、儲けにだけ走るのではなく、先に社会的貢献を果たし、その上で商いに入る。江戸時代の思想化である石田梅岩の先義後利の精神で、先に義理を果たせば後から利益は付いてくる、との考えを披瀝した。

四六半裁

OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。

オリバー480SD
四六半裁4色印刷機

大好評! オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131 (代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551 (代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651 (代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672 (代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260 (代) FAX.(0575)33-3146

 
ISO 9001-14001 認証取得
生産技術本部

■「労働安全衛生法」が改正

労働者の安全と健康の確保を一層充実

化学物質管理のあり方／ストレスチェック
制度の創設／受動喫煙防止対策など

義務・努力義務への対応が必要

【労働安全衛生法の一部を改正する法律】

労働安全衛生法の一部を改正する法律は、化学物質による健康被害が問題となった胆管がん事案など、最近の労働災害の状況を踏まえ、労働災害を未然に防止するための仕組みが充実された。

□特別規則で規制されない化学物質が原因で胆管がんの労災事案が発生⇒化学物質のリスクを事前に察知して対応する必要性。

□精神障害の労働認定件数の増加⇒労働者の健康状態を把握し、メンタル不調に陥る前に対処する必要性。

□同一企業における同種の災害の発生⇒当該企業の他の事業所における災害防止を未然に防止する必要性。

■化学物質についてリスクアセスメントの実施が義務(平成28年6月までに施行される予定)

□一定の危険性・有害性が確認されている化学物質による危険性または有害性などの調査(リスクアセスメント)の実施が事業者の義務となる。

※労働安全衛生法第57条の2および同法施行令第18条の2に基づき、安全データシート(SDS)の交付義務対象である640物質。

□事業者には、リスクアセスメントの結果に基づき、労働安全衛生法令の措置を講じる義務があるほか、労働者の危険または健康障害を防止するために、必要な措置を講じることが努力義務となる。

□化学物質を製造し、または、取り扱う全ての事業者が対象になる。

「労働安全衛生法」が改正され、平成26年から平成28年6月までの間に順次施行される。改正は、化学物質による健康被害が問題となった胆管がん事案の発生や、精神障害を原因とする労災認定の増加など、最近の社会情勢の変化や労働災害の動向に即応し、労働者の安全と健康の確保対策を一層充実するため、「労働安全衛生法の一部を改正する法律」が公布されたことによるもので、改正項目は7項目。項目ごとに施行時期が異なるので留意が必要となる。

■ストレスチェックの実施などが義務(平成27年12月までに施行される予定)

□常時使用する労働者に対して、医師、保健師などによる心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)を実施することが事業者の義務となる。ただし、労働者数50人未満の事業場は当分の間努力義務となる。

※ストレスチェックの実施者は今後省令で定められる予定で、医師、保健師のほか一定の研修を受けた看護師、精神保健福祉士を含める予定。検査項目は、「職業性ストレス簡易調査票」を参考とし、今後標準的な項目が示される。検査の頻度は今後省令で定められる予定で、1年ごとにするのが想定されている。

□検査の結果は、検査を実施した医師、看護師などから直接本人に通知され、本人の同意なく事業者に提供することは禁止される。

□検査の結果、一定の要件に該当する労働者から申し出があった場合、医師による面接指導を実施することが事業者の義務となる。また、申し出を理由とする不利益な取り扱い禁止される。

□面接指導の結果に基づき、必要に応じ就業上の措置を講じることが事業者の義務となる。

※就業上の措置とは、労働者の実情を考慮し、就業場所の変更、作業の転換、労働時間の短縮、深夜業の回数減少などの措置を行なう。

■受動喫煙防止措置が努力義務(平成27年6月までに施行される予定)

こんな加工
できる…

困ったな…

こんな
お困りの方

私たちが
中部No.1のスピード納品
尚友社が
試作品無料にて作成いたします

しどう
しよう…

どこに相談
したら…

創業
大正8年の
実績と信頼

和洋特殊美術製本

有限会社 尚友社製本所／アイデア創作工房
〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目14番19号 富田ビル
TEL.052-301-9900 FAX.052-301-9940
<http://www.shoyusha.co.jp>

□室内またはこれに準ずる環境下で、労働者の受動喫煙を防止するため、事業者及び事業場の実情に応じ適切な措置を講じることが事業者の努力義務となる。

□受動喫煙防止対策に取り組む事業者に対し、国は受動喫煙の防止のための設備設置の促進など必要な援助に努める。

※全面喫煙、喫煙室の設置による空間分煙、たばこ煙を充分低減できる換気扇の設置がある。

【国による支援措置の概要】

□受動喫煙防止対策助成金

助成対象：全ての業種の事業主で、喫煙室設置のための費用。助成率：上記費用の1/2(上限200万円)。

□受動喫煙防止対策に関する無料相談窓口

各種相談について専門家による無料電話相談を実施。また、依頼者の希望に応じて、無料実地指導も行なう。

□たばこ煙の濃度測定機器の無料貸し出し

職場の空気を確認するために、たばこ煙の濃度や喫煙室の換気の状態を測定する機器(粉塵計、風速計)の無料貸し出しを実施。

※受動喫煙防止対策助成金の詳細は

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/jigyousya/kitsuenboushi/>

■重大な労働災害を繰り返す企業に対し、大臣が指示、勧告、公表を行なう制度が導入(平成27年6月までに施行される予定)

□重大な労働災害を繰り返す企業に対して、厚生労働大臣が「特別安全衛生改善計画」の作成を指示することができるようになった。

□計画の指示に従わない場合、計画を守っていない場合などに、厚生労働大臣が必要な措置をとるべきことを勧告し、勧告に従わない場合はその旨を公表することができるようになった。

※特別安全衛生改善計画制度の流れ

同一企業内で重大な労働災害が繰り返し発生⇒厚生労働大臣が企業に対し「全社的な改善計画」の作成を指示⇒計画



受動喫煙防止対策助成金

助成対象：全ての中小企業主で禁煙室の設置のための費用
助成率：上記費用の1/2(上限200万円)

を作成⇒計画を実施⇒計画の実施状況を確認⇒企業全体で改善。

計画を作成⇒計画が著しく不適當⇒厚生労働大臣が計画の変更を指示⇒計画を変更⇒計画を実施⇒計画の実施状況を確認⇒企業全体で改善。

改善計画の作成を指示されたにもかかわらず改善がない場合は、厚生労働大臣が勧告。それでも従わない場合は企業名が公表される。

※重大な労働災害の定義／①死亡災害、②障害等級7級以上の災害

■規制・届出の見直し

□規模の大きい工場などで、建設物、機械などの設置・移転(生産ラインなどの新設・変更)を行なう場合の事前届出を廃止。

■型式検定などの対象器具の追加

□特に粉塵濃度が高くなる作業に従事する際に、使用が義務付けられている電動ファン付き呼吸用保護具を型式検定、譲渡制限の対象に追加。

※上記2項目は、平成26年12月までに施行予定。

『印刷業向け業務パッケージの決定版 P-MAN』

印刷情報管理システム



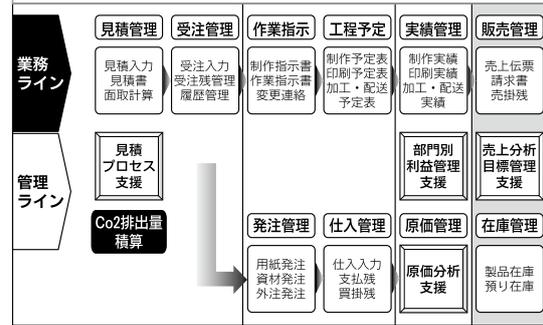
P-MAN Business e-Brain
Print Manager

見積・受注・制作予定・印刷予定・加工/配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』 『今こそ!!情報の見える化(MIS)』

印刷CO2排出量算出見積積算機能が追加されました!



株式会社 **モトヤ** 〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-10-25 TEL. 06-6261-1931
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 TEL. 03-3523-8711

■ブランディング委員会発足

若者の集う産業に 広く広報活動を推進



愛印工組・ブランディング委員会は、先の愛印工組総代会で承認発足し、荒川壮一委員長を中心に活動の方向性などの協議を進めてきたが、その具体的内容が決まった。

【発足・活動趣旨】

いつの時代も、優秀な若い才能が集う産業が勝ち残る。そして、未来は彼らが作り上げていく。印刷産業の未来も同じである。この産業に、志の高い優秀な若者が集えば、私たちの未来は明るいものとなる。

組合員や印刷会社の経営者ばかりを対象とする委員会活動ではなく、社会の若い才能たちが、印刷産業に目を向けて、魅力を感じてくれるような施策を展開することへの注

力。そして、印刷産業をブランド化し、若い才能たちの「印刷産業へのプライオリティ」を向上させることが、いま最も重要な私たちに与えられたミッションだと考え、今期、愛知県印刷工業組合にブランディング委員会を発足させた。

同委員会活動によって、組合員、また印刷産業に携わるステークホルダーにとって、「印刷産業の復興」という中長期的メリットとなる事業運営を行なっていく。

【活動内容】

最新ブランディング手法(当委員会は4名の「一般社団法人ブランドマネージャー認定協会」2級資格取得者を有している)に基づき、20代の優秀な労働市場(主に就職・転職希望者、転職検討者)を対象として、印刷産業に従事することの魅力を訴求した広報企画(PRMムービーなど)を制作し、発信、拡散、浸透させ、印刷産業の知名度・ブランド力向上に努める。

また、業界内向けには、ブランディングの重要性、意義や手法を普及すべく「ブランディングセミナー(仮称)」も開催する予定でいる。

【ブランディング委員会】(敬称略)

●委員長：荒川壮一(株荒川印刷)、副委員長：大河内泰雄(株大幸)、岩月琢也(株岩月末広堂)、委員：鈴木裕一(株鈴木紙工所)、宮原健太郎(尙一粒社)、堺貴弘(プリントス株)、井上英紀(株エイエヌオフセット)

●担当副理事長：鳥原久資(株マルワ)

(写真は荒川壮一委員長)

■マーケティング委員会セミナー

心をひらく「ほめ達」の魔法

「ほめる」ことで自信と勇気が芽生える極意

愛印工組・マーケティング委員会(鬼頭則夫委員長)は、10月9日名古屋駅前のウイंकあいちにおいて、講師に武藤隆是氏(株FUNtoFAN代表取締役)を招き、「心をひらく『ほめ達』の

魔法」と題したセミナーを開催した。

セミナーの冒頭挨拶に立った鬼頭委員長は、「私たち愛知県印刷工業組合は色々な委員会に分かれており、各委員会で組合員の方たちに、より良い情報、役に立つ情報を提供しようと試行錯誤しながら頑張っている。マーケティング委員会の今年のテーマは、『接客』である。マーケティングとは、まず人ときちんとした会話が出来なければマーケティングは無いということで、本日は日本ほめる達人協会、認定講師の武藤隆是社長に来ていただいた。いろいろな会話術や、いかにすれ

美しく、人に響く
デザインを

adWise 株式会社 アドワイズ
〒451-0062 名古屋市西区花の木1-16-18 花の木ハイツ1F
TEL 052-523-1257 FAX 052-523-1258
E-mail: ad-wise@ad-wise.biz

圧着DM製作~宛名印字・投函まで

社内一貫生産

圧着ハガキ専門!!

品質に安心 楽しく信頼
株式会社 **メイセイプリント**
名古屋本社 〒452-0037 愛知県清須市枇杷島駅前東一丁目3番地3 TEL(052)503-3091 FAX(052)503-2557



90余名が参加したセミナー会場

ば人とうまく会話ができるのか、といった有意義な話が聞ける」と述べた。

講師を務めた武藤社長は、2009年に企画、コンサルを業務とする㈱FUNtoFAN社長として、スポーツGOMI拾い大会と新人教育を組み合わせた企画。また、2010年には、㈱Bolero社長とし、大人の隠れ家BARの企画、開発「BAR Ajito」などユニークな取り組みを行なっている。2013年より日本ほめ達協会の認定講師を務めている。

■セミナー「心をひらく『ほめ達』の魔法」

武藤講師は、「ほめることで自信と勇気が芽生える。ほめ達の極意は、ほめるのは人のためだけでなく、自分自身を高めるツールであり、ほめるとは、自分の周りの人、モノ、おきる出来事の価値を発見し伝えることである。人は不安感から身を守るため本能的に人の欠点を探してしまう。ほめることは、お世辞をいったり相手にとって良いことばかりいうことではなく、ほめることによって周りに安心・安全な場が生まれる。その安全な場、空気、雰囲気に触れると元気が出てアイデアも湧いてくる。さらには、行動する勇気、自信が芽生え、心が開かれ、世界が広がる。それが『ほめ達』の魔法である。

そうした、人をほめることが自分に出来ているか、置き換えて考えてみる。また、『でも・だって・どうせ』の言葉を使わないことや、『すごい・さすが・素晴らしい』の言葉が持つ力と魅力を解説。「コミュニケーション力をアップすることで仕事をもっとスムーズにはかどる」と説いた。さらに、セミナー後半では、出題され問題や質疑応答で「ほめ達」のテクニックが解き明かされた。

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
平成27年 1月14日(水)	事業名	平成27年新春 新年互礼会
	場所	名古屋東急ホテル
	講師	岸 昌洋 氏 (全印工連 産業デザイン室 副委員長・㈱正文舎代表取締役・北海道印刷工業組合 副理事長)
	定員	講演会のみ参加も受け付けます。詳細は下記参照。
	参加費	組合員:13,000円(講演会含) 一般:16,000円(講演会含)
1月21日(水) 13:00~17:00	事業名	アドビテクニカルセミナー 冬の陣
	場所	ウインクあいち 1102
	定員	90名
2月13日(金) 10:00~12:00	事業名	ゼロから始める「見える化」セミナー 愛知版
	場所	ウインクあいち 1202
	参加費	調整中
	定員	
	申込期日	
備考		

■平成27年度新春「印刷と関連業界新年互礼会」開催案内

新春恒例の「新年互礼会」を下記の要項で開催いたします。平成27年がより良い年になりますよう業界の皆様とともに新年を祝い、有意義なひと時を過ごしたいと存じます。お忙しい折りとは存じますが、印刷関連業者が一堂に集う「新年互礼会」に是非ともご参加下さい。

【開催日】■平成27年1月14日(水)

【会場】■名古屋東急ホテル3階:TEL052-251-2411

【内容】■新春記念講演会「バロックの間」15時30分～

講師:岸昌洋氏(全印工連産業戦略デザイン室副委員長/北海道印工組副理事長/㈱正文舎代表取締役、演題:「調整中」)

■新年互礼会「ヴェルサイユの間」17時20分～

【参加会費】■1人:16,000円(講演会と祝賀会)、※新春講演会のみ参加の場合は5,000円

■愛印工組会員は1人13,000円(講演会と祝賀会)、※新春講演会のみ参加の場合は3,000円

【参加費納入日】■平成26年12月10日(水)、振込先:三菱東京UFJ銀行大津町支店(普)0754724愛知県印刷工業組合

【問い合わせ先】■愛知県印刷工業組合:TEL052-962-5771



Giving Shape to Ideas

コニカミノルタに全てお任せください。

色校正



Digital Konsensus Premium
Ultimate Edition

デジタル印刷



Falboard AQUA®

環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム



bizhub PRESS
C1070/C1070P/C1060

環境対応プレート

ケミカルレスCTPシステム



BLUE EARTH®

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 PPG営業統括部 中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル11F TEL.052-229-4624(代)

●平成26年度永年勤続優良従業員表彰

●永年勤続優良従業員表彰15年

伊藤和則、齋藤雅仁、山内憲一、中川浩(長苗印刷株)、川口八江美(株一誠社)、羽根淵公彦(プリ・テック株)、鴨川司、山本弘靖(あいち印刷株)、青山美紀、大林雅代、西谷涼子、横山洋一(株エムアイシーグループ)

●永年勤続優良従業員表彰10年

藤井稔也、熊谷多恵子(昭和印刷株)、水野晶子(名鉄局印刷株)、石島義久(菱源株)、藤井貴英、山内成晃(共生印刷株)、田中薫、松本さつき(鬼頭印刷株)、松尾亜紀(株昭栄社印刷所)、本多晃子、森下敬子、馬淵光次、百武勇生、星野憲一、花崎浩一、増田真紀(長苗印刷株)、近藤真樹、廣谷智之、村上泰教、岡田勇祐(株一誠社)、北村朋彦、北川峰司、稲熊達也、藤原幸典、尾崎妙子(新日本印刷株)、水口卓司、小林規雄(プリ・テック株)、飯田孝行(半田中央印刷株)、西脇栄里子(三井堂株)、近藤夏樹、平岩直美(あいち印刷株)、市川保匡(株ヨシノ印刷)、杉浦美奈子(株西三印刷所)、新村友樹、奥山 忠、志賀善仁、中川敦子、福田真太郎(株エムアイシーグループ) (敬称略)



名古屋商工会議所 「各種補助金説明会」開く

融資制度の最新情報を提供

名古屋商工会議所では、10月14日名古屋商工会議所2階ホールにおいて、「各種補助金説明会」を開催。中部経済産業局、愛知労働局、愛知県からそれぞれの担当者が出席、最新情報が提供された。

①「経済産業省の中小企業支援策について」長谷川昌志中部経済産業局産業部産業振興課総括係長が、今後の中小企業・小規模事業者支援策について触れた。②「非正

規雇用者をめぐる現状と課題について」山下保愛労働局職業安定部職業対策課あいち雇用助成室室長補佐が、非正規雇用の状況、課題、事業主に求められる対応、キャリアアップ助成金の活用などについて説明。③「制度融資、産業立地補助金、あいち中小企業応援ファンドによる補助金について」金田学愛知県産業労働部産業労働政策課主幹が、中小企業金融、ファンドによる助成などを説明した。

(各種補助金の詳細については、本誌上で逐次紹介予定)

■中小・小規模事業者の経営相談所

「よろず支援拠点」開設

経営上の困りごと相談／相談は無料

経済産業省の「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」の一環として、愛知県では「(公財)あいち産業振興機構」に「よろず支援拠点」を開設している。これは、平成26年度から全国都道府県に1ヶ所ずつ設置されることになったもので、本年6

月から相談ごとを受け付けている。ここでは、相談者の悩みが解決するまで、とことんサポートする体制を取っており、これを拠点の基本姿勢としている。

【相談事対応】

①解決が困難な経営相談「総合的・先進的アドバイス」。

②事業者の課題に応じて、複数の支援機関・専門家がチームを組んで支援「チームの編成を通じた支援」。

③地域の支援機関とネットワークを活用し、経営課題に応じて的確な支援機関を紹介「ワンストップサービス」。

【拠点の役割】

ワンストップサービスの実現を掲げ、拠点専属のコーディネーター／サブコーディネーター13名が、相談者の話をじっくり聴き、総合力を結集し、最適な解決策を考えてくれる。そして、コンシェルジュのように様々な支援窓口や相談サービスをコーディネートし、解決策の実行まで、着実なフォローアップを行なう伴走型支援を約束している。

▼愛知県よろず支援拠点/名古屋市中央区名駅4-4-38愛知県産業労働センター(ウインクあいち)14階、TEL052-715-3188。

相談は無料。相談時間は、月曜～金曜午前9時～5時まで。

編集だより

□秋の気配が日ごとに深まりを見せる中で、公園の銀杏の木が色づき始めた。今年も残り2ヶ月を切った。□BCPIについてのセミナーが多い中で、体験セミナー「もしもの時の備えて」は大きなインパクトを与えてくれ、BCPの必要性を痛感した。

あいちの印刷

No.516

平成26年11月10日発行

発行人 木野瀬 吉孝
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp





napsは、DTPの?に 処方箋をお出しいたします。

DTPのソフトウェアとハードウェア環境は、ますます高機能化、高性能化し、
ネットワーク対応の度合いを進化させています。
その一方で異なるOS間のデータ互換、クロスプラットフォーム化の現在、
ナプスは最適なDTP環境をご提案、ご提供させていただきます。

株式会社 ナプス

〒466-0058 名古屋市昭和区白金三丁目7番6号
TEL.052(882)3481 FAX.052(882)3483

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



電子情報配信サービス

MC Catalog+



MCCatalog+を
無料でお使いいただける
「0円キャンペーン」
実施中
2015年1月末まで

カタログやチラシ、パンフレットなど、あらゆる印刷物をスマートフォンやタブレット
端末に向けて手軽に配信できるクラウドサービス。印刷データをそのままアップ
ロードするだけで、読者が見たい情報をタイムリーに届けることができます。

モリサワ

株式会社モリサワ 〒505-0012 大阪府大阪市淀川区豊洲2-5-20 Tel.06-6642-2151
※記載されている会社名・商品名は、各社の登録商標又は登録商標です。 ※弊社では、予告なく変更する場合がございます。

www.morisawa.co.jp

印刷健保は、みなさんの健康を守ることを第一とし、
健診と保健指導を健康づくりの柱として力を入れていきます。

●ジェネリック医薬品のススメ

皆様のご協力によりジェネリック医薬品に切り替えれば、医療費は削減できます！



全国印刷工業健康保険組合東海支部

〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-12 メディアージュ愛知2F
TEL 052 (961) 6856 FAX 052 (961) 2934
ホームページアドレス <http://www.insatukenpo.or.jp>



新時代のコミュニケーションツールに キングアイテムがお応えします！

封筒・名刺のことならデザインから印刷まで
トータルでおまかせください。

完璧なシステムとノウハウ
それがキングコーポレーションです。

- 封筒 ● 名刺用紙 ● はがき用紙 ● カード用紙
- 婚礼用紙製品 ● 葬儀用紙製品 ● 賞状・株券・領収証用紙
- カレンダー・年賀状 ● DTP名刺印刷システム
- OA 機器 ● OA サプライ用紙



製品情報および個人情報保護方針につきましては
弊社ホームページをご覧ください。

株式会社キングコーポレーション

<http://www.king-corp.co.jp>

本社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目7番23号 TEL.052-961-7661 FAX.052-961-7662

- | | | |
|------------------------------|------------------------|--------------------------|
| ■名古屋本店 TEL.052-444-7161-7151 | ■金沢支店 TEL.076-242-3294 | ■鹿児島支店 TEL.099-252-7420 |
| ■仙台支店 TEL.022-284-6688 | ■大阪支店 TEL.06-6771-5568 | ■札幌営業所 TEL.011-757-1102 |
| ■東京支店 TEL.03-3864-3861 | ■神戸支店 TEL.078-611-5400 | ■青森営業所 TEL.017-764-1140 |
| ■横浜支店 TEL.045-929-2721 | ■広島支店 TEL.082-235-0202 | ■浜松営業所 TEL.053-462-8511 |
| ■静岡支店 TEL.054-265-3300 | ■福岡支店 TEL.092-612-3861 | ■さいたま支店 TEL.048-844-6622 |



Origin & Revolution

KOBUNDO

原点、そして未来へ。

オフセット印刷 品質検査装置

ラフ・ビジョン

KBD Lab-vision®

機能・品質・デザインひとつも妥協
しないハイエンド検査装置。
枚葉オフセット印刷機に！



自動用紙排紙装置 LESAシリーズ

リザー

KBD LESA®

油性薄紙からUV厚紙まで
品質検査装置と連動した画期的
排紙装置

Lab-vision と連動して不良紙を
自動排紙、抜き取り検品も容易に自動化！



特許申請中

重量式計数装置

KBD μ-Count Scale

ミューカウント スケール

サンプル用紙計測機

MSC-1
MSC-2



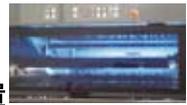
汎用ジョガー
対応

用紙を載せるだけで自動計数
断裁作業の迅速化に貢献

オゾンレスUV装置

KBD イージックス

高感度インキに対応した
オゾンレスでエコロジーなUV装置



印刷機排紙部に160W/cmのランプ1灯でただちに乾燥が可能。
既設の印刷機への取付けもできるため、コストパフォーマンスが
高く、売上UPに貢献するシステムです。



印刷機材の総合会社
株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL.052 (331) 4111 (代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所 / 北海道・青森・山形
千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄

<http://www.kobundo.co.jp>